

| | | | |
|-------|--|------|--|
| 区分・種別 | 県指定史跡 | | |
| 名称 | ぎのうさくべえのはか 義農作兵衛の墓 | | |
| 所在地 | 伊予郡松前町大字筒井1330-2-1 | | |
| 所有者 | 松前町 | 管理団体 | |
| 指定年月日 | 昭和23年10月28日 | | |
| 解説 | <p>作兵衛は、元禄元（1688）年2月10日に松山藩筒井村（現松前町）に生まれた。田畑3反3畝（約3272㎡）小作田1反5畝（約1487㎡）を耕作する小農で、年貢もきちんと納めていた勤勉な農民であった。</p> <p>享保17（1732）年の豪雨・洪水で麦は収穫できず、田植えをした稲はウンカの大発生により大飢饉となった。松山藩の被害は諸藩中最大で、餓死者は、3489人におよんだという。</p> <p>前年病気で妻を失い、この年父と息子が餓死し、本人も農作業中に倒れたが、彼は麦種の食用をすすめる隣人に「種は農の本でわが命より尊い」と説き、麦種を枕に同年9月23日、45歳でなくなった。その後、世人から「義農」とたたえられている。</p> <p>安永5（1776）年、藩主松平定静^{まつだいらさだきよ}はその義をたたえ、藩の儒学者の丹波南陵^{たんばなんりょう}に碑文を書かせ「義農之墓」の碑を墓前に建てて永く顕彰することとした。</p> | | |

